

日南町が新地域再生計画（平成 27～31 年分）を公表 「日南の豊かな森林の恵みを活かしたまちづくり計画」

平成 27 年 9 月 29 日、鳥取県日南町は「日南の豊かな森林の恵みを活かしたまちづくり計画」として、地域再生計画（平成 27～平成 31 年分）を公表しました。以下概要についてご案内致します。

町面積の9割が森林という日南町には、豊富な森林資源があります。私有林面積が 29,124ha あり、うち杉を主体とした人工林面積が 18,301ha（約 63%）を占めています。また、標準伐期齢以上の人工林が 11,442ha、蓄積量が 430 万立米に達しています。これらの豊かな森林資源をいかに有効活用するかが、林業・木材産業を主産業として地域経済を活性化する鍵となっています。

人工林資源は利用可能な段階を迎えつつありますが、搬出する路網整備が遅れていることや山林の所有形態が小規模かつ分散化していることから生産性が低く、また、木材価格の低迷等による森林所有者の方の林業への関心の低下により、間伐等の十分な手入れが行き届かない森林が顕在化しているのが現状です。

このため、日南町の林業・木材産業が経済主産業として飛躍することを目指すとともに、これらの産業の再生を通じて森林の適正な整備、保全を促進することとして、県と日南町が連携して以下の取り組みを行っています。

- ① 施業の集約化や路網、機械整備による低コスト林業の推進と木材供給の推進
- ② 森林づくりを支える担い手の確保、育成や低コスト林業推進の中核的存在となる事業体の育成、強化
- ③ 木材搬出、流通コストの削減や品質・性能の確かな製品の開発、供給等の推進
- ④ とっとり共生の森や森林環境保全税、FSC 認証取得やワセト・ルジット制度等を活用して森林づくりに対する町民意識の醸成

前回の地域再生計画（H18～H22）と今回の新規地域再生計画（H27～H31）により、地域の豊かな森林資源を有効活用することにより幅広い雇用が生まれ、地域の経済活動が活発となる事。持続する森林を再生することで、更なる地域経済を活発化して林業・木材産業を一大産業化して「森林」が生活の糧となることを目標としています。

